



旧三島駅 昭和3年(現下土狩駅)

井上靖作品「しろばんば」に登場する下土狩駅

クチコミ その2 洪作少年はここから旅立った

井上靖(1907~1991)の自伝的小説『しろばんば』の主人公・洪作少年は、この旧三島駅から旅立ちました。現在の駅前には、平成20年除幕の、井上靖生誕百年記念・洪作少年像があります。この像は町内在住の彫刻家・堤直美氏、「はじまりは 出会いに 他ならない 井上靖」の碑文は書家・岩永司明氏によるものです。

長泉町駿河平にある井上靖文学館では、井上靖が伊豆で過ごした幼少期から最期の詩「病床日誌」まで、たくさんの作品群を知ることができます。ぜひ足を運んでみてください。



下土狩駅前にある洪作少年像

井上靖文学館

ふるさと伊豆天城からシルクロードへの旅。井上靖の「作品山脈」に分け入ってみよう。

■休館日/毎水曜日・年末年始

■入館料/大人 ¥500

高・大学 ¥400 小・中学 無料

■TEL.055-986-1771



井上靖文学館



井上靖77歳 撮影・宮寺昭男

私のオススメ店

文学散歩の途中で、お洒落にティータイム♪

TREEHOUSE (ツリーハウス)

こどもから大人までみんなが集うコミュニティ。地元の新鮮な食材を使ったカフェ&ショップは、井上靖文学館入り口・階段の前にあります。

■TEL.055-980-5856 ■10:00~ ■水曜定休

地元の新鮮な食材を使った料理!!



世紀を越え今なお残る、豆相鉄道の跡

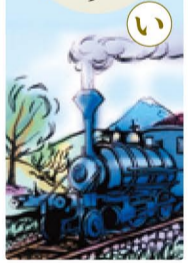
明治31年、旧三島駅(現下土狩駅)~旧南条(現伊豆長岡)を結ぶ豆相鉄道の営業を開始しました。これが現在の伊豆箱根鉄道駿豆線です。

クチコミ その3 豆相鉄道の廃線跡を発見

下の図に添って、豆相鉄道の廃線区間を散策すると、水路に駿豆線の橋が残っています。明治31年頃に作られたので、なんと100年以上前の物です。機会があればぜひ、昔の豆相鉄道に思いを馳せて、廃線跡を歴史散策してください。



伊豆箱根鉄道 下土狩から 三島まで



豆相鉄道の廃線跡 長泉町ふるさとカルタより

鉄道唱歌(第1集 東海道篇 16番)

三島は近年ひらけたる
豆相(ずそう)線路のわかれみち
駅には此地(このち)の名をえたる
宮幣(みやへい)大社
(かんべいたいしゃ)の
宮居(みやい)あり



※鉄道唱歌…明治時代の流行曲。第1集東海道篇第1番の出だし「汽笛一声新橋を、はや我が汽車は離れたり」は有名。
※豆相…現伊豆箱根鉄道の前身で、ここで歌われる三島とは、現在の下土狩駅のこと。



私のオススメ店

歴史散策の途中で腹ごしらえ♪

STORY'S (ストーリーズ)

開業25年。人気No.1の100%ビーフハンバーグ、茹であげ麺の本格パスタの他、味と素材と手間にこだわったメニューが満載!

■TEL.055-987-2777 ■8:00~23:00 ■無休(元日のみ定休)

自家製 焼きたてパン!!

